

整形外科

1. 一般的項目:

外来患者数

▶ 項目の解説

整形外科(運動器)疾患は多種多様にわたっており、当院は地方の特定機能病院として全ての疾患に対応する必要があると考えています。外来患者数を評価し、さらには疾患ごとの患者数などを検討することで全体的評価や特徴を検討する必要があります。

▶ 定義

年間の外来患者数です。

コメント

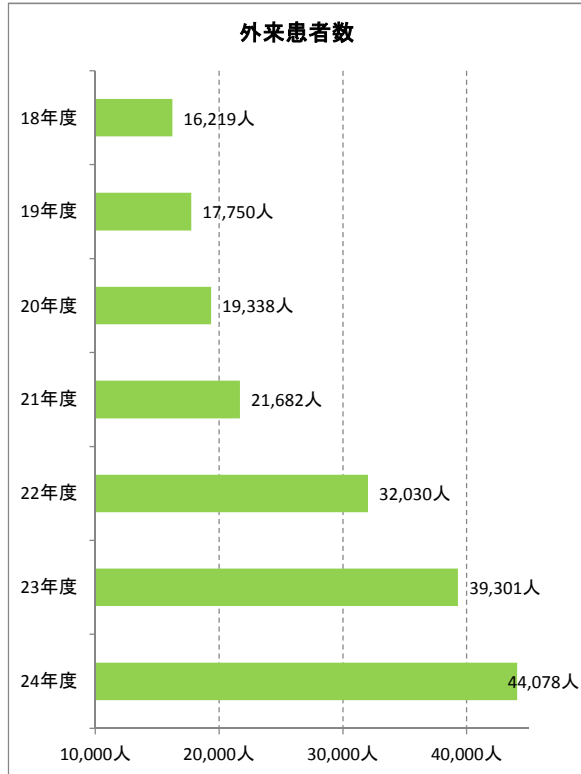
平成22年度に外来棟が新設され、診察室の増加により一度に診察できるようになり、患者数を増加させることが可能になりました。また、プライバシーへの配慮や待ち時間を減らすことなど患者サービスにも貢献しています。

算式

延患者数

単位

人



入院患者数

▶ 項目の解説

入院患者数は、入院期間の短縮やベッド数の増加により、待機患者の入院待ちが半年から数か月に減ってきました。当院では重症疾患を多く扱っていますが、診療システムを連携することで効率的な入院運営を行い、そのことを評価します。

▶ 定義

年間の入院患者数です。

コメント

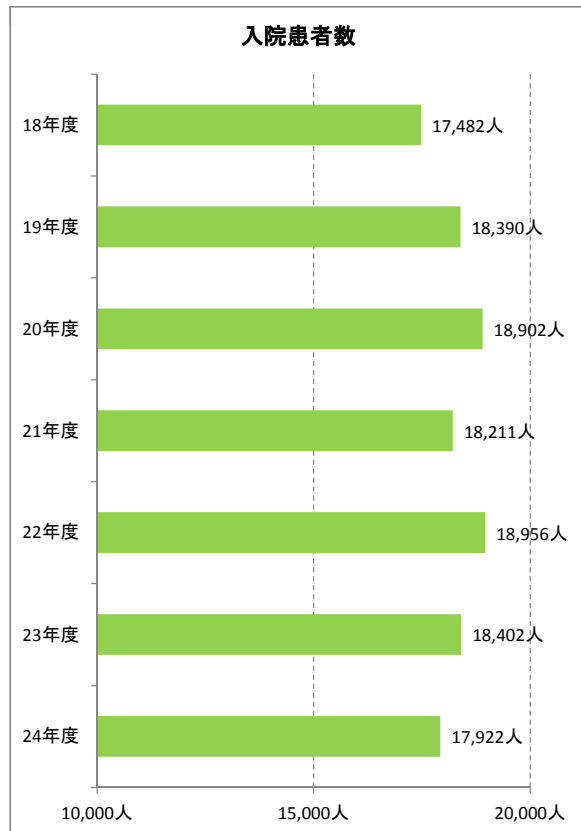
共通病床の利用や救命救急センターの開設もありベッド数が増加しました。また、各科との連携により、入院待機患者数の減少に努めています。

算式

延患者数

単位

人



診療科等の臨床インディケーター

手術件数

▶ 項目の解説

地方の特定機能病院として、様々な疾患に対する手術を実施することが必要不可欠と考えており、手術件数と術式などを検討し、評価します。

▶ 定義

年間の手術件数です。

コメント

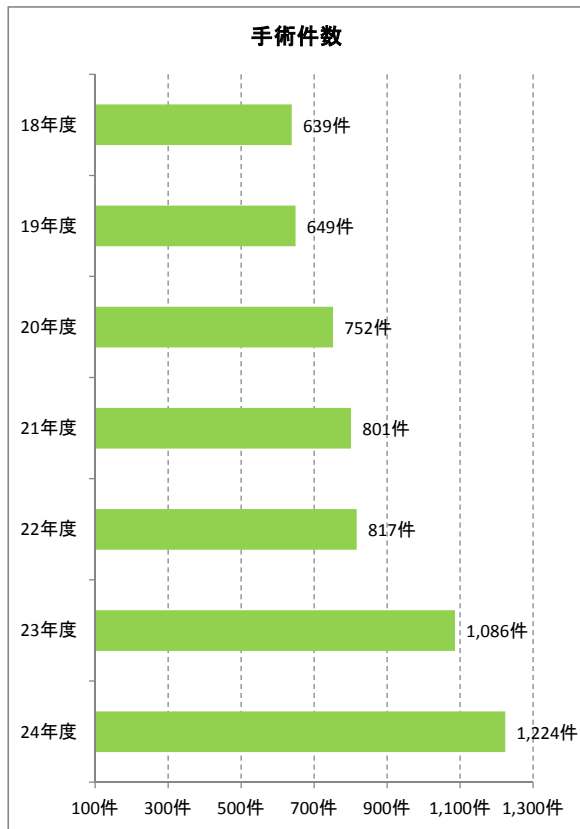
平成20年に手術室を増設後、手術件数は増加しています。救急患者の手術件数も増加しており、対応できる体制を構築しています。

算式

延手術件数

単位

件



2. 大学病院特有項目:

体外衝撃波疼痛治療件数

▶ 項目の解説

体外衝撃波疼痛治療装置を、難治性の足底腱膜炎を中心とした疼痛性疾患に用いた診療を行っています。本装置は、平成23年12月に難治性の足底腱膜炎に対して保険収載されたばかりであり、国内での実施件数も少ない状況です。また、その他の疼痛性疾患に対する治療は倫理委員会を通して実施しており、本院特有の治療法で今後が期待されています。

▶ 定義

疾患ごとの実施件数

コメント

当院では足底腱膜炎が保険収載される前から治療を実施しており、スポーツ選手をはじめ疼痛で困られている患者さんへの新しい治療方法としての実績をあげています。

算式

実施件数

単位

件

